

道南

発行 2009年8月1日
発行所 北海道道南会事務局
連絡所 横浜市鶴見区生麦
4-9-13-803
TEL 045-505-9709
FAX 045-505-9709

函館開港一五〇周年記念に寄せて

道南会会長 川守田孝平

安政元年（一八五四）五月十七日、日本と和親条約を締結したアメリカの海軍提督M・C・ペリーが、開港される予定の箱館港を下検分するため、五隻の艦船を率いて来航しました。ペリーは滞在中に箱館湾の海図を作成した他、銀板写真術（タゲレオタイプ）の初公開などを行っています。

このペリー来航が契機となり、蝦夷地を統治する函館奉行所の移転先として、五稜郭が築城されることになり、欧米文化の影響を受けて、函館市が今日の国際観光都市として発展する礎となったのだと思います。

この函館港は、米國、オランダ、ロシア、英国、フランス、五力国との修好通商条約に基づき、安政六年（一八五九）六月二日（新暦七月一日）、日本で最初の貿易港として、長崎、横浜と同時に開港しました。それから一五〇年、函館は大きな節目を迎えました。

七月一日、函館市民会館で函館市主催の「開港百五十年記念式典」が開催され、道南会を代表して出席しました。式典は西尾正範市長、高橋はるみ北海

道知事をはじめ、中国大使、オランダ臨時代理大使、など各国関係者や市民の方々が大勢列席、広い会場を埋め尽くしました。

式典は函館市立的中学校の生徒、及び市内の劇団員によるオーブニング劇「リ・スタート少年たちへ、そして未来の函館へ」の熱演で幕が開きました。次に舞台は変わり、市民から募集した言葉を元に、作曲家小林亜星さんが作詞作曲した、開港百五十年記念歌「あれから、そして今」が、小林亜星さんの



函館真景：函館中央図書館所蔵

指揮で約二百三十人の大合唱により披露されました。小学生から大人までの大合唱団の、素晴らしい歌声に感動しました。

このあと、港湾の振興や「海の日」の普及に貢献したとして、日本海事広報協会から「海の日モデル地区」の認定証が函館市に交付されました。この認定証は全国で六番目、道内では初めて、開港一五〇年を迎えた函館港に花を添えました。

式典終了後、湯川花びしホテルに会場を移し、盛大な祝賀会が開かれました。溢れるばかりの会場に各国の大使ご夫妻や来賓の方々が、和やかに歓談するうちに式典の行事が終了しました。

記念行事としては、メインイベントの「DREAM BOX 150」（ドリーム・ボックス・イチ・ゴー・マル）が八月八日から十六日まで緑の島を舞台に行われ、ステージショーなど盛り沢山のイベントが予定されています。

この日、東京ほか各地からはこだて観光大使の方々二十数名が記念式典に列席され、式典終了後、稜雲亭で昼食会が開催されました。函館市の谷澤副市長を始め観光コンベンション部の鈴木敏博部長、ブランド推進課池田敏春課長、大泉潤主査が出席され、大使の活動などについて懇談や意見交換をしまし

た。

函館開港一五〇周年アニバーサル・ソング
『あれから、そして今』

【1】

あれから一五〇年
北の港が開いてから
世界の人がやって来た
エグレス・オロシャ・
メリケンさん

いろんな旗が揺引いて
耳を澄ませば何処からか
文明開化の声がした
今砲台に蝶が舞い

立待岬は潮の渦
観光の群に惹かれて坂道を
登れば出船のドラが鳴る
そして再び港が開く
明日に飛び立つ扉が開く

【2】

あれから一五〇年
時代の風が吹きました
大きな波も寄せてきた
プカプカ・ドンドン・
ハイカラさん

文化マーチでひと踊り
赤い煉瓦の倉庫群
賛美歌聴こえる石畳
今煌らめきの函館は
光のパノラマ夢の夜
みんな幸せの明かりを灯してる
願いを集めてキラキラと
そして再び港が開く
平和とロマンの扉が開く

函館開港一五〇周年を迎えて

函館市長 西尾 正範

北海道道南会の皆様におかれましては、日頃より、函館市勢伸展に多大なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

来年は、創立五〇周年という大きな節目を迎えると同様に、創立以来、半世紀という長きにわたり、「ふるさと道南」を心の絆として、固い結束のもと、幅広い分野における活発なご活動と郷土発展への貢献を継続され、今日のご隆盛を築かれておりますことは、ひとえに、川守田会長をはじめ歴代会長、役員の皆様のおかげならぬご努力のたまものと存じ、深く敬意を表します。

早いもので、平成十九年四月の市長就任以来、二年余りが経過し、任期の折り返しを過ぎた今、改めて、歴史ある函館のまちの将来を見据え、その舵取り役としての責任の重さを実感しております。

とりわけ、去る七月一日、皆様のご支援のもと、函館開港一五〇周年記念式典を無事執り行うことができ、この大きな節目となる年に市政を担う者として、先人たちの歩んだ歴史と感慨に思いを馳せつつ、函館のま

ちが魅力と活力にあふれる共同体として、また、世界に貢献できる個性あるまちとして、一層輝いていけるよう全力を尽くすべく、心を新たにしたところであります。

【開かれた港・近代日本の幕開け】

ご承知のとおり、函館は、今から溯ること一五〇年前の安政六年（一八五九年）六月二日、前年に締結されました、アメリカ・オランダ・ロシア・イギリス・フランスの五カ国との修好通商条約に基づき、横浜・長崎とともに、我が国初の国際貿易港として開港しました。

その当時に思いを致しますと、開港は、それまで鎖国政策によって海外との往来を閉じてきた我が国に、諸外国との人物などのさまざまな交流をも

たらし、近代日本の礎を築く上で大きな契機であったと考えられます。

私たちのまち・函館におきましても、国内外から多くの人々が夢と希望をもって集まり、宗教も文化も芸術も皆、箱詰めにされて猛烈な勢いで港に運び込まれました。

様々な布教活動、教育事業・社会事業がさかんに行われ、瀟洒な西洋建築物や教会が次々と建ち並び、今でこそ異国情緒と呼ばれる街並みも当時は未知なる文化の最先端だったことでしょう。函館は海に開かれた交易のまちであるとともに、東洋と西洋が交差する地、伝統と開拓、内陸と海洋の交わる進取の地となりました。こうした函館特有の歴史と景観は、今もなお、市民や観光客に親しまれ、「国際観光都市はこたて」の貴重な財産として息づいています。

【DREAM BOX 150】
「みなとまち函館」の開港一五〇周年を、多彩な祝賀イベントで彩り、多くの皆様とお祝いし、全市を挙げた記念事業を実施するため、各界各層からなる「記念事業実行委員会」を設立し、市民をはじめ、団体・企業などの参画をいただきながら、取り組みを進めてまいります。

八月は、函館が最もにぎわいをみせる「港まつり」に引き続



航空自衛隊ブルーインパルス 写真提供 黒澤 英介

き、八日から十六日の間、記念事業のメインイベント「DREAM BOX 150」(ドリーム・ボックス・イチ・ゴーマル)が港内を一望できる「緑の島」において開催されます。

初日の航空自衛隊ブルーインパルスの祝賀飛行を皮切りに、記念式典でお披露目された小林亜星氏作詞作曲の開港一五〇周年アンバーサリソングの大合唱、PMFプラス・アンサンブルコンサートなど大型イベントが目白押しです。さらに注目は人気アーティスト連の夢の共演「COP10 SPECIAL LIVE」。マリーン、大黒摩季など



COP10 SPECIAL LIVE

豪華ミュージシャンの熱い音楽を通して、函館の夜がさらに情熱的な世界に包まれます。

他にも、戸井マゲロ解体シヨイをはじめ海の街の「美味しさ」を満喫できる「HAKODATE国際フィッシュヤーマンズマーケット」や様々な体験型メニュー満載のマリンスポーツアトラクションもご用意しています。

会場内では、専用貨幣「ペロリ」を使います。アトラクション参加代金や飲食代金は「ペロリ」で支払い。1ペロリは1円に相当し、貨幣は50ペロリ、100ペロリの2種類となっています。



150年前のペリーの絵

この「DREAM BOX」¹⁵⁰には、会場の「緑の島」を、「夢」のたくさん詰まった「箱」にしようという想い、そして、将来に向かって、「夢」のある「ハコ」ダテを作っていきたいという、みんなの願いが込められています。この記念すべき喜びのときを共に祝い、これを契機に、先人たちが培ってきた伝統と精神に触れ、その価値を改めてかみしめ、函館が持つ善きもの・善き気風を、みんなで力を合わせ、育んでまいります。次なる開港二〇〇周年の未来に向かって、新しい歩みはすでに始まっています。

【水産・海洋都市】

港の歴史に水産を忘れることはできません。函館は、大正期から昭和期にかけて、商業や貿易の拠点、北洋のサケ・マス漁業の基地として栄え、太平洋戦争後も、「北洋漁業を中心とする漁業のまち」、「青函連絡船が発着する北海道の玄関口」、「造船のまち」として発展してまいりました。

現在も、国内屈指の「水産都市」、「水産・海洋に関する学術研究都市」として、「函館国際水産・海洋都市構想」を推進するなど、港を中心として、海とのかかわりの中で、まちの歩みを進めております。今年の四月三日には、「函館

国際水産・海洋都市構想」のさらなる推進を目指し、一般財団法人「函館国際水産・海洋都市推進機構」が発足し、函館市臨海研究所内に事務所を開設しました。現在、函館商工会議所副会頭の木村孝男氏が代表理事、東京大学名誉教授の伏谷伸宏氏が実務の最高責任者となる推進機構長に就任しております。

函館国際水産・海洋都市推進機構は、従来構想を推進してきた函館国際水産・海洋都市構想推進協議会を母体とし、水産・海洋に関する学術研究や産業創出を総合的に進めることを目的としています。

主な取り組みとしては、産学官連携推進の総合的な相談窓口の設置、学術研究機関や関連企業の誘致に向けた取り組み、水産・海洋と市民生活の調和を目的とした市民参加型イベント開催といったこれまでの取り組みに加え、新たに同機構が主体となって「はこだて」水産・海洋



で元気なまちづくり推進事業」を推進することとしております。

この「推進事業」では、初年度の事業費を二千八百万円とし、同機構を中心に、産学官で実施主体となる「元気なまちづくり推進協議会」（会長・藤原厚 函館水産連合協議会会長）を設置し、「EITを活用した水産業の活性化」、「都市漁村交流と食育を介したブランドづく

り」、「函館イカ産業クラスター高度化による地域活性化」など5つの研究テーマを実行する5つの分科会を設け、インターネットによる情報発信や取引による水産物流通量の拡大、イカやホタテなどの残滓（ざんし）の利活用、イカに関する産業や技術の集積などといった技術開発はもとより、都市と漁村の交流などソフト面の事業も推進することとしております。

同事業は四月に内閣府の「地方の元気再生事業」に申請し、六月末に採択が決定され、本年度は全国六九六の提案から一九一件が採択されたものであります。

同機構が事業主体となる初の調査研究の管理運営事業であり、水産・海洋をテーマとした函館の活性化と人材育成の進展、さらには生産者と消費者の交流推進などが大いに期待されています。

このほかにも、七月には、函館エリアにおいて当市や道が提案した産学官連携の研究・開発プロジェクトが、文部科学省の「知的クラスター創成事業（グローバル拠点育成型）」に採択され、今後五カ年にわたり、毎年度三億円規模の事業が委託されることが決まるなど、国際水産・海洋都市構想の実現に向けて、弾みとなる出来事が続いで

います。今後とも、地域に潜在する新たな産業の芽を育て、当市を取り巻く厳しい経済状況からの脱却を図るため、国際水産・海洋都市構想をはじめ、効果的な経済対策の推進に力を尽くしてまいりますので、皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



随想・雑感

世にも不思議な話

福津 達男

この世にはよく分からない不思議なことがあるものだ。その昔、我が家を荒らし回った二千匹の「ねずみ」の大群は死後どこに行ったのか。

アカデミー賞外国映画賞に輝いた「おくりびと」が話題だが、野生の動物達には「葬式」という儀式がない。

象の墓場の話は聞いたことがあるが、家庭のペットの類は別として、群れをなしてねぐらに帰る鳥。そうした鳥獣たちの死骸がほとんど見当たらないのは何故だろうか。突如、忽然として消えてしまう自然界の謎。また、動物だけでなく、花や木や、石と語らう人や、死後の世界、「霊」と語る人もいるという。「超常現象」の世界。今年もやがてお盆が近づくと、「迎え火」や、「送り火」の慣習も薄らいだ。昨今だが、「彼岸」と「此岸」の狭間の年齢に達した今となっ

て、私の身近に起こった世にも不思議な話を二、三綴ってみることにする

世にも不思議な話・その

「狐の嫁入り」

昭和二十五年、同期の大釜君と吉岡村（現・福島町）の小学校に代用教員として赴任した。

まだ学生気分が抜け切らず、人里離れた住まいを希望したところ、松前方面に吉岡トンネルの隧道工事のために使われた五軒長屋の宿舎があつたのでそこを生活の第一歩とした。

飯場用に造つたものだから、六畳間の和室と四畳半の板の間という簡素なものだ。WCは汲み取り式で、部屋中に臭いがするので使用禁止とし、裏山に穴を掘って用を足すこととしたが、マムシや青大将が襲ってくるので、前を流れる川にそそり立つ木に登って、川をめぐがけて放出することにした。

木の葉っぱをペーパーに、天気の良い日は快適だが、風が吹き、雨や雪が降ると一苦労だ。

しかし大昔の暮らしが偲ばれるケツコウな場所だった。

当時は配給制度時代の二人分の米は十日でなくな

り、後は僅かな小麦粉だけの日々「スイとん」も、小麦粉のパンも、朝、昼、晩、すっかり飽きて、甘いものと肉には特に飢えていた。

隣に小学四年の男の子で人なづかい水沢のメッコタンゲン（丹下左膳のような独眼）がいた。時々家中をかき回していたずらをするのだが妙に憎めない。

いつも金魚の糞みたいにくっついて私から離れない。ある日、メッコタンゲンが、「狐がワナに掛つた！」と肉の塊を持ってやってきた。犬を食べたことはあるが、狐は初めてである。

期待して食つたが、不味い！泥臭いというか、毛ぐさいというか。それでも焼いて鼻を摘まみながら塩をかけたり、味噌をつけたりして食べた。

二日後、そろそろ寝ようかと



思った時、雨上がりのいまだ空気が濡れて霧が立ち込めていたが、裏山の方がボツと明るくなった。

よく見ると、提灯のような明かりが道路の両側に点々と揺れ動いて何んとも不思議な光景が展開している。

山頂に向かって、大釜君と「行ってみよう！」ということになった。

灯りは



◎大千軒岳

福島町・松前町・上の国町の境にある1000m級の山。旧道コースの尾根にある千軒平に立つ十字架は、福島町側の金山番所で採掘鉱夫として酷使され、処刑されたキリシタンの慰霊碑。「千軒」の名の由来は、かつての鉱夫の家の数とも言われている。

煌々というわけでもなく、ぼんやりと照らしているのだが、足元は明るく、歩くには不自由しない。
小半時、なにか吸い込まれる感じで二人とも黙々と歩いた。やがて、お不動さんの滝にきた。ここは遠足で子供達を連れてくる所だが、ここから上には行つたことがない。また半時ほど登った。
提灯は、神社の境内に立ち並ぶ石灯籠のように見え始め、それも基台部分がなく、宙に浮いている感じだ。
千軒岳を超えると向こうは上の国。風がさわめき、小枝が揺れた。その時、木の根っこにけ

つまづいて二人は横倒れになつた。お互い初めて顔を見合わせした。「俺たち、ここで一体何をしてるんだ？」正気に戻ったのだ！

今来た道を転がるように坂道を駆け下った。

ようやく麓にたどり着いて、ふと後ろを振り向いたら、真っ白な狐が赤い目を輝かしてジューツとこちらを見ていた。大きな大きな「白狐」だった。あの食べた狐肉は、子供だったのか、それとも最愛の連れ合いだったのか。いずれにしても家族の一員だったのだらう。

恨みをかって、もう少しで魂を抜かれる寸前であった。六十年経った今でも思い出すと寒気が走る。

実は先日、私の事務所で信じられない現象が起きた。

狐の物語と油揚げを買ってきた話をした途端、机上に置かれた私のビジネスバッグが、静かに起き上がり、スーツと空中に浮き、移動して「ドスン」と床に落ちた。同席していた設計事務所の坪田社長と経営コンサルタントの川畑両氏がこれを目撃。顔を見合わせ目を見張った。

翌日、知己のアドバイスを受けて、早速赤坂の豊川稲荷に詣で、大音声で読経する「般若心経」に心を添え、好物の「油揚げ」と「生卵」を供え、手を合わせた。

世にも不思議な話・その

福島町長夫人は「観音様」の化身なのだ

「福士はま子」という小学校二年生の愛くるしい少女がいた。

正月には、「福笑い」という遊びが流行っていた。目隠しして大きな紙に輪郭だけの顔、そこに目、鼻、口を置くのだが、場所を間違えて大笑いする。しかし、はまちゃんは正確に目、鼻を置くので、目隠しをずらしてズルしているのだ！と皆が騒いだ。だが、本人は「そんなことは絶対にならない。目をつぶっても自然に見える」という。

それならと、さらに幾重にもタオルをしてカレンターをめくると、月日を当て、トランプの数字も、色もきちんと当てる。裏返しても分かるという。

真つ暗な部屋で時計の針も見えないという。やがて噂が広がり、昭和三十二年四月二十五日、地元紙の渡島時報に。

次いで、読売新聞社が取材に来た。

NHKが「人間電波が走り透視するのを実験、取材したい」との要望で、はまちゃんの東京行きが決まった。当時は一日がかり。青函連絡

船から夜行列車に乗り換えて、何時間もかけて行ったものだから疲労困憊。

幼い少女は倒れて「実験は中止」となった経緯がある。

ある日、ピカツと光つて「観世音菩薩」が、はまちゃんに舞い降りてから不思議な現象が起きるようになった。

目を閉じると、スクリーンに映し出されるように形が鮮明に現れるという。

彼女は現在、村田駿・福島町長夫人である。今でも霊感があり「町長の行動はすべて分かる」という。

数年前、会った時、「福津先生は今までに七回も死んでいるのよ」と言われた。

自分では気がつかないけれど、確かにそんなことがあったかと思う。

タクシーと正面衝突して眉間を割って入院したことは記憶に新しい。

溝の口のスーパー・サンコーストアで一週間、昼夜の突貫工事をやり、疲れて道路にしゃがみ込んでいたら、目の前に空から人が降ってきた。ビルの洗いや屋が高圧線に触れたのだ。即死である。落下地点と数十センチしかなかった。

また、小田原の西武増改築工事の時、居眠り運転で赤信号でも飛ばしたこと。

さらに、忘年会の帰り、酔っ

払って自宅近くを歩いていたら、タクシーに飛ばされ、空中に舞った。

一瞬、「逝ったナ」と。この世から去る時は案外こんな簡単なものかと思った。

気がついたら、中村隆俊先生の戸田中央病院に運ばれていた。大腿骨骨折、靱帯損傷で、全治するまでに三カ月半かかった。

それでも、馬齢を重ねて生きている。いや生かされているのか？「しっかり働け」「本気でもっと役に立つ仕事をしろ」と叱られている気がする。

世にも不思議な話・その

「霊」は一瀉千里を走る

家内は二十五年前、来世へと旅立った。

半年の余命と言われたが、一年半頑張ったのも、子どもたちのために、「一日でも、一分一秒でも生きたい」という願いと気がそうさせたのだらう。

一カ月以上、私も新宿の病院に寝泊まりしていた。亡くなる前の日、既に察知していたのか、

今まで生きてきた三十九年間の思いを夜通し声の出なくなるまで話しはじめ、最後に「親戚を皆回ってきた」と妙なことを言

い出した。

翌朝四時頃、腹の底から振り絞るような声で叫んだ。「子どもたちを呼んで！」「早く呼んでください！」。病院中に響き渡るような大声だった。

「生みの親と育ての親が四人揃ってお迎えに来た」という。家内は生まれてすぐ母親は新しい命と引き換えに亡くなった。父親は馬喰。親戚が行った時、藁の中に二歳、四歳の姉達とつづくまっていた。上の姉二人は寺に預け、生まれた赤ん坊だけ引き取り、養女とした。

急いで子どもたちをたたき起して、車をぶっ飛ばして連れてきた。

長男、次男と順番に手を握りながら「これでお別れだけど、仲良く元気でね」と。娘には「ひとみちゃんの、薔薇色の人生を見れなくてゴメンネ」と言

って目を閉じた。

その瞬間！昨夜から待機していた「霊」が動いた。福島町、函館、斜里へと走った。茶碗が転がり、箸が折れる。津軽塗の箸が稲妻のようにギザギザになって折れた。

遺言は「神棚を造ってくださ

い」との一言であった。神棚と床の間の小皿に盛った「塩」が三日間、グルグルと渦を巻いたのは、何の知らせなのか？

そして、新しく取り替えた車

の番号が命日と同じ「0608」である。偶然にしても不思議なことだ。

翌年、甥の結婚式が釧路であった。式後、同期の金曾君、教え子の本庄君と数件飲み歩いて、夜中二時頃ホテルに戻った。先刻別れたばかりの本庄君から、「私の家内が出てきたから、すぐ来てください」との電話が入った。

本庄金政君は、私の会社で約二年間用心棒をしていた。それは私が東京に来て間もなく、大塚の三業地でクラブを開業したことがあったが、いつの間にかその店がヤクザの溜まり場になり、彼をドアボーイ兼、用心棒として迎え入れた。変わった

経歴の持ち主で、ヤクザの二人三人は簡単に処理してしまい、何回か警察沙汰にもなった。そのうち、いなくなっと思ったから、釧路で数人の若いのを引き連れて、「日教組反対」の車に乗って、「右翼」になっていた。

ガタガタのベンツに乗って、「若い衆」が迎えにきた。

玄關のドアを開けた。いきなり本庄君の奥さんが、家内と全く同じ声で、「お父さん、久しぶりー」と、泣きながら抱きついてきた。

家内が乗り移ったのだ。酔いもすっかり冷めてしまった。そして、大好物だった「カニ」と「アワビ」を一生懸命食べ

て、私にも「御馳走になりなさい」という。

三時間ほどしゃべり出した。ほとんど子どもたちのことであるが、一緒に買い物をし、料理も一緒に作っているという。

奥さんは江差の女性で霊感が強く、親類の人だけでなく、知らない人や動物の霊なども入って、何度か失神して霊媒師に助けられたこともあるという。

部屋には、今までに入ってきた十九の「霊」が祀ってあった。別れ別れになった姉に遭いたというので本庄君が運転して、途中釧路の海に鎮魂の花を投げ入れ、斜里に向かった。

彼は昔、陸送をやったので運転は確かだが、事故で免許は持っていない。助手席に奥さんが乗っていると警察に捕まったことは一度もないという。その日も一斉検問をやっていたが、「右へ回って遠回りをしなさい」と指示されていた。

弘前の寺町にある永泉寺は、永平寺の流れで、福津家の菩提寺であったが新しく飯能に墓を造り納骨した。

現在、娘は二児の親となり、幸せな日々を送っている。安堵したのであろう。その後「霊」は出てこない。

なお、本庄君は奥さんの「神の声」で、堅気の生活に入り、赤提灯を下げた居酒屋の好いオヤジとなっている。

兄との別れ

道南会副会長

沼崎 貞良

去る五月十二日、兄、沼崎弥太郎が急逝しました。七十九歳でした。兄と道南会のご縁は兄が函館国際観光コンベンション協会会長の職にあり、道南会の新年総会に出席するようになってからのことで、皆様と楽しく飲み、食べ、語り合うことを楽しみにして居りました。

兄は二年前肺癌を患い左肺を半分ほど切除したのですが、その後順調に回復し私共も安心しておりました。しかし四月十四日突然体調不良を訴え入院、ICUに入っておりましたが、五月十二日容態が急変し、帰らぬ人となりました。

兄は昭和四年函館に生まれ、函館師範付属小学校、函館市立中学校を経て函館水産専門学校（現北海道大学水産学部）を卒業しました。その後昭和三十二年函館に漁網会社を設立しました。折から北洋漁業の最盛期で繁盛して居ましたが、北洋漁業衰退を機に、昭和四十四年地域社会の情報化に役立てようと、コンピュータによる受託処理業務を主体に「北海道電子計算センター」を設立し、平成四

年新社屋設立と同時に社名を（株）エヌイーシーと変更、本年創立四十周年を迎えたばかりでした。

この間、函館商工会議所副会長、函館国際観光コンベンション協会会長、函館港祭り実行委員会会長、函館クリスマスファンタジー実行委員会会長、函館水産・海洋都市推進機構代表幹事等々多くの公職にありました。

通夜は五月十五日船見町高龍寺で、葬儀は六月二日国際ホテルで、（株）エヌイーシーの社葬で行われました。曹洞宗大本山永平寺御専使が導師を務められ、二十数名の僧侶の読経の後、弔辞は函館市長西尾正範様他の方々からそれぞれ足跡、業績等々丁寧なお言葉を頂き、最後に会社を代表し新たに社長に就任した永井英夫様が「いつまでも悲しんではられない。役員一一致団結し業務に励むことが、沼崎社長のご遺志に答えることだと思ふ。一生懸命がんばることを誓う」と決意を述べられ葬儀は終了しました。

兄の生涯をかけた函館の観光発展のため、遠く離れた東京から道南会の一員として、また、はこだて観光大使の一員として、少しでもお役に立ちたいと決心しています。

花見酒

高橋 端滴

ひとひらを

手帳に光が丘の春

道南の人ら集いし

花祭

函館弁 飛び交っている

花見酒

臥牛山の 話出てくる

花見酒

故里は はるかなる北

花こぶし

バンド鳴りて

静心なく 落ちる花

散り敷いて 花美しき

団地かな



ふるさと・同窓会だより

東京かみのくに会
定期総会・懇親会

葉袋 泰記

「第十二回東京かみのくに会定期総会・懇親会」は、平成二十一年三月二十八日(土)ホテルグランドパレスで、十一時三



十分より来賓・会員及び関係者七十三名が出席して盛大に開催された。

総会議事終了後、森山光夫会長の挨拶の後、ご来賓の上の国町工藤昇町長がふるさの現況と今後について、特に八月からは全国でも初めて高校生までの医療費無料化の実施について報告した。続いて若狭大四郎議長の挨拶の後、ご来賓の方々が紹介され第一部総会が終了した。

懇親会は、上の国八幡宮松崎辰彦宮司様の歎笛の演奏の後、檜山漁業組合市山亮悦組合長の乾杯のご発声により祝宴に移った。会場では故郷のスタイルショーとして映像が映し出され、町の状況に見入っていた。お楽しみ福袋抽選会で盛り上がり、舞台ではアトラクションとして「藤薫歌謡ショー」&来賓カラオケが演じられ会場は大変な盛り上がりとなり、また、ふるさと(五木ひろし)合唱、懐かしい中学校の校歌、上の国首頭を歌い会場は更に盛り上がりを見せ楽しいひとときを過ごしていた。

東京ふるさと七飯会 総会

葉袋 泰記

平成二十一年「東京ふるさと七飯会」の総会は第二〇回記念総会として二月二十一日(土)正午、上野の伊豆栄本店で開催された。五十名の会員中二十五名が出席。郷里七飯町からは中宮安一町長、與田敏樹企画推進室長が出席され郷里の現況等を報告した。

特に、昨年秋には男爵イモ誕生一〇〇年を記念し、その歴史や意義を知ってもらおうと発祥の地・七飯町でさまざまな行事が展開された。また、七飯は、西洋リンゴが日本で初めて栽培された地。一八六九年(明治二年)、榎本武揚らとの契約で千ヘクタールの土地を借りたプロシア人ガルトネルが試作したのが始まり(翌年開拓使がその土地と施設を活用して試験農場開設。通称・七重官園)。今年で百四十年となる。

今年二月には関係者出席のもと新潟市で第一回「千の風サミット」と「千の風音楽祭」が開催され、大沼小学校の児童達も参加し、歌を披露して大きな拍手を頂きブラボーの掛け声までも頂き子供達は感激して会を盛り上げた。

来年のサミットは大沼が開催

地に決定。この曲の訳詞・作曲した新井満さんは大沼に新たに家を新築して一月から住所も大沼に移し、七飯町民となつて活動することになった等詳細の報告があった。

北海道道南会から沼崎貞良副会長が出席され会員との交流を

はかられた。藤谷末松顧問の乾杯により懇談に移る。ふるさとのワインで喉を潤し、和気あいあいの語らいが続ぎ、楽しいひとときを過ごし、故郷のお土産を手に散会した。



原島 石川 統 中村
森岡将光 成田 熊谷 成田 鈴木 川口 小林 境 川俣 山下 金山谷
入江 藤谷 與田室長 中宮町長 豊田 大久保 島山東次郎
葉袋会長 沼崎 道南会副会長

北海道福島会
定期総会・懇親会

葉袋 泰記

「第9回北海道福島会定期総会・懇親会」は、平成二十一年四月二十五日(土)ホテルグランドパレスで、十三時三十分より会員及び関係者八十五名、来賓十三名が出席して盛大に開催された。

総会では杉澤順一会長の後任に角谷和雄氏が会長に選任された。議事終了後、角谷和雄新会長の挨拶の後、ご来賓の福島町村田駿町長が、ふるりの現況、今後について紹介され、続いて千葉商科大学理事長原田嘉中様(福島会顧問)の乾杯のご発声により祝宴に移った。

懇親会では、原田嘉中様が春の叙勲で旭日中綬章を受章されたことが紹介された。会場ではパソコンを駆使し「写真で見る福島今昔物語」と題して映像が映し出され、町の変化に見入っていた。舞台ではアトラクシオンとして「みち乃く兄弟」による津軽三味線と歌謡曲が演じられ会場は大変な盛り上がりとなり、故郷の特産品が並べられたコーナーでは暫し故郷の味を堪能されていた。また、各小学校の校歌、中学校の校歌が合唱され会場は更に盛り上がりを見せ楽しいひとときを過ごされた。

東京奥尻島人会
総会・懇親会

葉袋 泰記

「第三十六回東京奥尻島人会総会・陽春懇親会」は、平成二十一年四月十九日(日)虎ノ門パストラル「鳳凰東の間」で、十三時より会員八十一名、来賓十七名が出席して盛大に開催された。

総会では、岩藤毘会長の後を受け和田穂積氏が新会長に選任された。和田穂積会長の挨拶のあと、新村卓実奥尻町長など来賓の方々のご挨拶が続ぎ、特に新村町長より奥尻町では、地ワイの醸造に成功し四月十日から初売りを開始したこと、これまでに以上に観光に力を入れると報告した。続いて麓敏也議長の乾杯のご発声により祝宴に移った。

会場では、奥尻島のPRの映像が映し出される中、特産品の販売が行われた。舞台では江差追分東京北陽会高清水見代表の美声による江差追分が披露され、カラオケ、奥尻ふり音頭などの余興で盛り上がり、更には奥尻珍味お楽しみ抽選会で会場は更に盛り上がりを見せた。東京奥尻島人会では奥尻町が首都圏への地場産品の流通拡大を目指し、上板橋駅前の「上板

橋南口銀座商店振興組合」の「ふるさととれたて村」への協力は毎月第一日曜日の朝市に役員有志が継続して行っている。その縁で板橋区役所から声が掛かり、昨年は中板橋商店街の年末セールの特別イベントとして奥尻の物産販売に役員が参加して協力した。会をあげて会員が故郷・奥尻町のために何とか手助けをしようとする命に協力、活動中。また、七月の奥尻島室津祭りに毎年参加ツアーを実施し、昨年は四十名が参加した。今年も計画、募集中。



ふるさと会の活動状況
同窓会

- 東京柏野会 四月十八日(土)
- ライオンクラシックホール 函館東高校青雲同窓会 五月三十日(土)
- 渋谷東武ホテル 参加者一五三名
- 第七回東京大沼会 六月二十日(土)
- 東京メトロ深川総合運動場 参加者 三十九名
- 東京大森会 六月二十一日(土)
- グランドアーク半蔵門 東京東川会 六月二十七日(土)
- ライオンクラシックホール 参加者 五十九名
- 東京函商同窓会 七月十一日(土)
- 日本外国特派員協会 参加者 百七十八名
- 東京上磯会 十月十七日(土)
- ホテルパシフィック東京 函中白楊ヶ丘同窓会 十月二十四日(土)
- 虎ノ門霞山会館 幸・常盤小学校同窓会 十月二十四日(土)
- ベルシー又竹芝 函館工業高校同窓会 十月三十一日(土)
- ホテルラングウッド 遺愛同窓会東京支部 十二月三日(木)
- アイビーホール青学会館

21年新年総会・懇親会

平成二十一年の新年総会・懇親会は、一月二十四日(土)午後十二時三十分より、東京都千代田区内幸町の日本プレスセンタービル十階ホールで、来賓・関連団体・会員など百三十四人が出席して行われた。

新年総会は、島田瑞子幹事の司会で行われ、最初に、川守田孝平会長が年頭のあいさつとして、昨年は、アメリカの金融危機に端を発した世界同時不況が我が国を直撃し、北海道は元より故郷・函館をも巻き込んでい

る。今年は函館開港百五十周年記念事業や益田喜頓生誕百年記念事業が行われるが、道南会はこれらに協力したい。

道南会は、昭和三十五年に渡辺紳一郎さんが会長で発足してから平成二十二年に創立五十周年を迎える。長い間継続できたのは会員の皆さんやご協力いただいた方々のご支援の賜物と感謝している。渡辺紳一郎さんは、創立時の挨拶で「道南会には面倒な決まりはなく、故郷の話をする場」と言っておられる。今後ともこの考えを活かした和やかな会を継続したい。

現在、道南会の案内等は郵送しているが、将来は電子メールを活用して経費節減を図りたい。お差支えなければメリングリストの作成にご協力いただきたい」と述べた。

次に、板垣寿見子副会長が、谷澤廣函館市市長、沼崎弥太郎国際観光コンベンション協会会長などの来賓を紹介した。

来賓を代表して、谷澤副市長が「昨年七月の洞爺湖サミットに、南茅部で出土した中空土偶を展示して函館の魅力を発信した。臨空工業団地に七年ぶりに工場進出が決定。さらに、駅前



大門地区に専門学校が進出する。地域経済の活性化と人材育成に貢献してくれると期待している。新幹線が来年青森まで延伸し、平成二十七年には函館まで開通する。新幹線開業に合わせたアクシヨンプランを作成して事業を推進している。

「ふるさと納税」では、皆様より五百万円強の浄財をいただいた。この場を借りて御礼申し上げたい。

今年、函館が開港して世界に門戸を開いてから百五十周年の節目の年。七月一日に開港記念式典を行う。同時に、八月一日からの港まつりに引き続いて数々のイベントを行うので、多くの皆さんに函館においていただきたい」と、函館の近況を報告した。

続いて、沼崎函館国際観光コンベンション協会会長が「函館の観光客は、平成十一年がおよそ五百三十万人だったが、昨年は四百八十万人だった。今後は、新幹線の新青森開業や二十七年の新函館延伸などを契機に観光客の一層の誘致に努力したい」と述べた。

続いて、総会議事として、沼崎貞良副会長が二十年の事業報告と決算報告、二十一年の事業計画を、瀬田松吉昭監事が監査報告を行い、いずれも原案通り承認された。

役員改選は、川守田会長が、板垣副会長と幹事の福田裕子さんと田村良人さん、顧問の鳥本玲子さんと平野拓夫さんが退任された。皆さんの永年のご協力に感謝したい。新しい幹事には、古井勝春さんと泉龍夫さん、大水和彦さんに、板垣前副会長と新山春一さんのお二人に顧問にご就任いただいた」と報告した。

この後、會田雅樹函館市港湾空港部参事が函館開港百五十周年記念事業の概要について「八月八日から十六日までの八日間、函館港の緑の島をメイン会場に、「ドリームボックス150」と名付け、函館の海の幸を提供すると同時に、世界二十二カ国から民族芸術団を招待し、それぞれ音楽と踊りを披露していた。他には、海の若大将・加



山雄三さんのステージ・ショーや、昭和三十年代の北洋漁業の華やかかりし頃に思いをはせて、一夜限りで当時のキャバレーを再現して、そのステージでは矢代亜紀さんに演歌を歌っていただく。この時期に合わせて大勢の方々函館に来ていただいた」と述べた。

また、金山正智函館市文化スポーツ振興財団理事長が、益田喜頓生誕百周年記念事業として上演する函館市民によるミュージカル「案山子物語」について「九月二十日に浅草公会堂で昼夜二回公演を行う。多くの皆さんにご観覧いただきたい」と紹介した。函館赤い靴の会の宮崎衛会長



は「童謡、赤い靴」のモデルの少女は、函館に大変縁が深い。少女の銅像が六月には完成する」と述べた。

総会議事終了後、中村隆俊顧問の発声で、会の発展と参加者の健康を祈念して乾杯。祝宴に移った。会場内には函館市の観光ポスターが多数貼られて雰囲気盛り上げたほか、会場内の各所で函館弁が飛び交う中、賀詞交換や挨拶が交わされていた。祝宴の半ばには、四人の新入会員が板垣副会長から紹介された。

余興では、歌手で女優、函館観光大使でもある平田まりさんが函館にちなんだ歌として自身が作詞した「五稜の星」を、また同じく歌手の斗南良子さんが「横浜ブルース」を、「函館ブルース」に替えた歌をそれぞれ披露し、会場内から大きな拍手を

受けていた。

恒例の福引抽選会では、函館市とサッポロビール、観光コンベンション協会などから提供されたワインやチーズケーキ、エアドウの東京・函館往復航空券や戸田中央総合病院脳ドック無料受診券など多数の景品が用意され、賞品が当たる度に各テーブルから歓声が上がリ、会場内は大いに盛り上がった。

抽選会の余韻が残る中、葉袋泰副会長の一本締めで中締めをし、次回の再会を約して午後三時三十分過ぎ閉会した。

なお、参加者にはお土産として、「サッポロビール」麦とホップと函館塩ラーメン、お菓子（北海道製菓提供）のセットが配られた。



新年総会出席者

【来賓】

函館市副市長 谷澤 廣
函館市港湾空港部参事 會田 雅樹

函館市観光コンベンション部
ブランド推進課課長 池田 敏春

函館国際観光
コンベンション協会会長 沼崎弥太郎

北海道東京事務所副所長 三島 滋

サッポロビール㈱
広域営業本部
営業推進統括部専任部長 寺沢 豊行

北海道国際航空㈱ 八木澤和夫
東京支店主席 八木澤和夫
北海道新聞社東京支社 編集局長 嶋田 健

【関連団体】

函館市文化スポーツ振興財団 理事長 金山 正智
函館市民会館 木村 拓美
函館赤い靴の会会長 宮崎 衛

【参加者】

朝倉敏夫、荒木道雄、五十嵐英壽、池上謹之助、石塚光司、石畑きね子、泉 龍夫、板垣寿

見子、鶴島克孝、扇 啓一、大西孝司、大水和彦、荻野幸平、小山内八重、小野寺文男、小山光、笠川雅彦、加藤信利、金柿陽子、川口嵩子、川守田孝平、川守田礼子、簡 和弘、菊池紀邦、工藤正昭、小坂鉄雄、郷内繁、神山茂郎、越野 徹、小助川昭一、小林寅雄、小林嘉則、小森良彦、小山和彦、小山慶子、酒井哲美、坂本保子、櫻井正光、櫻川梅房、佐々木静子、佐々木豊子、佐々木理夫、佐藤成子、佐藤則道、佐藤 洋、佐藤マサ、澤株正始、澤株尚子、塩野崎宏、島田瑞子、神 れい子、新谷義克、菅原大作、杉田博子、須藤珠美、瀬田松吉昭、相馬滋、高木清子、高田和扶、竹澤秀明、竹中裕行、田代沙智子、田辺貴子、田村治雄、田村保子、続 薫、寺田耕治、照井陽子、土井真一、時田厚子、斗南良子、豊田利雄、豊田みさ子、島本玲子、中川和彦、中島利夫、長島康、中村隆俊、納代鉄也、波間省三、榎木久澄、成田慶子、新山春一、沼崎貞良、沼崎茂子、根来美和子、濱片志津子、原京子、比嘉裕子、東川正秀、東川満子、檜森元元、平田まり、福島 紀、福津達男、富士昭一、藤山秀樹、船矢敏明、古井勝春、本間和吉、松浦和彌、松田洲平、三國比左男、水島敏夫、葉袋

新入会員紹介

() 内は出身小学校

斗南良子
(御主人が東川小、西高卒)
田村治雄さんの紹介
檜森元元(港)

平田まり
(宿毛市出身・函館観光大使)
新山春一さんの紹介
古川元函館市
東京事務所長の紹介
向山慶宗則(八幡)

山田克明さんの紹介



函館弁コーナー

れるんなら、本当にたいへんだな)

◎アズマシイ
ゆったりすることや満足

のいくことをアズマシイという。アズマシイの語源は安心(あんじん)ましいであるといわれている。基本的な意味は、心が休まるということである。

アズマシイ ユツコダナ。
(ゆったりして気持ちのいいお湯だな)

コノハヤ ヒロクテ アズマシィネ。

(この部屋は広くてゆったりしているね)

◎ユルグナイ

容易ではないことや楽でないことをユルグナイという。北海道では、何かがたいへんで容易でないとき、「ユルグナイ」、あるいは「ユルクナイ」がその気持ちを表現するのにぴったりで、なかなかその外の言葉が見つからない。

コンナニ シゴトサセラレ
ルンダラ ホントニ ユル
グナイ。

(こんなに、仕事をさせら

ゴドモ フタリモダイガ
グサ ヤツテンダラ ユル
グナイナ。
(子どもを二人も大学に入

れているのなら、たいへんだね)

◎イーフリコギ

人前で、でしゃばっている
ろいろなことをする人という。イーフリは、好い格好
という意味である。コギは
批難の対象になる人を指し
ている。

ホントニ マコトダラ
イーフリコギダナ。フダン
ナンモヤラネクセニ ヒト
イッペイレバ スグ メダ
ツヨニー シャシャリデテ
イグンダモナ。
(本当に誠なら目立ちがり

やだな。ふだんは何にもや
らないくせに、人がたくさ
んいればすぐ 目立つよう
にしゃしゃり出ていくんだ
ものな)

アイツ アヤツケタモナ。
イツモ ヒトマエサデル
ト アヤツケルンダ。
(あいつ、目立ちたがりや
だものな。いつでも人前に
出ると目立ちたがるんだ)

平成20年度収支報告書 (自平成20年1月1日至20年12月31日) 北海道南会

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越高	533,957	行事費	2,182,174
年会費	453,000	通信費	196,275
行展会費	2,251,100	印刷費	267,900
寄付金	70,000	消耗品費	15,327
広告協賛費	27,000	交通費	110,110
雑収入	10,250	会議費	44,373
受取利息	1,086	会費	10,000
前受金	84,000	交際費	70,200
		広告費	14,000
		雑費	18,948
		支払手数料	14,930
		未払金	25,520
		次期繰越高	460,636
合計	3,430,393	合計	3,430,393

次期繰越金内訳

現金	¥28,288
普通預金	¥345,068
振替口座	¥87,280
合計	¥460,636

特別会計 特別積立基金

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越高	1,000,000	次期繰越高	1,002,808
受取利息	2,808		
合計	1,002,808	合計	1,002,808

おしらせ

「はこだて検定」を今年
は首都圏でも実施します！
はこだて検定では今年、
函館開港一五周年を記念
して、関東在住の道南出身
者・函館ファンの方向けの
受験会場を特別に首都圏
(東京または横浜で調整中)
に設けます。どうぞこの機
会にぜひ、はこだて検定に
挑戦していただけますよう、
お申込をお待ちしています。

第四回試験の概要

【試験日時】平成二十一年十
一月八日(日) 初級試験は
午前十時半、上級試験は
午後一時半、
【受験料】初級三千円、上級
五千円、六十五歳以上は各
千円引

【申込方法】八月下旬より配
布する所定の受験要項兼申
込書に記入し、九月一日、
三十日の期間内に、最寄の
郵便局で受験料を添えて申
込。受験要項は電話で函館
商工会議所へ請求願います。
公式テキストも通信販売し
ています。

【お問合せ】函館商工会議所
電話 一三八(三三)一一八一

道南会行事報告

「新年総会」

一月二十四日(土)
午後十二時三十分開会
プレスセンターホール



「新宿御苑・観梅会」

二月二十六日(木)

朝からほとんど日差しがなく、肌寒くて用意の携帯用の使い捨てカイロを参加の皆さんに配って喜ばれたほど。生憎の天候だったが、苑内には幼稚園児の遠足や梅の撮影会なども行われていた。何とか全員が座れる場所を見つけてお酒と食事、お喋りを楽しんだ。小雨が落ちてきたため記念撮影後に解散し、それぞれ日本庭園辺りの散策などを楽しんだ。参加者 二十六人。



「光が丘公園・お花見の会」

四月四日(土)

快晴・微風の絶好のお花見日和に恵まれたこの日は、土曜日ということで家族連れなどの花見客が大変多かった。公園内では通路の両側には食べ物などの屋台が並び、店の間を抜けて通るのも大変なほど。集合場所の



大江戸線の光が丘駅前から五分ほど歩いて、満開の桜の花に囲まれた所に座れる場所を見つけて宴を開いた。散り始めた桜の花びらを眺めながらの会話が弾み、楽しい一時を過ごした。参加者 二十六人

「明治神宮・菖蒲苑の散策」

六月二十七日(土)

梅雨の晴れ間の暑さもあまり厳しくないという天候に恵まれた中、原宿駅に集合し、明治神宮内の菖蒲苑まで散策。しばし花を楽しんだ後、昼食を兼ねた宴を開き、食事やお酒、会話などで楽しい時間を過ごした。参加者 二十八人。



「第六回道南会ゴルフコンペ」

七月七日(火)

道南会会員のゴルフ愛好者が一堂に会して、年に一回日頃の腕を競う、第六回ゴルフコンペが、七月七日(火)、埼玉県日高市高萩の日高カントリー倶楽部で、五組十七人が参加して行われた。

この日は、梅雨の合間の薄曇りの天候に恵まれたものの、無風・三十 を超す真夏日だったため、水分補給が欠かせないという過酷な条件の中で、熱戦が展開された。

成績は、竹澤秀明氏が48、43、グロス91で優勝。二位は、大久保吉郎氏が43、41、グロス84でベストグロス賞と合わせて入賞。三位は三村寿雄氏だった。この日のコンペには、プレーはしなかったものの、このゴルフ会の会長の田沼修二氏と小山慶子さんにも表彰式のパーティに出席していただいた。

編集後記

今年は、函館開港一五〇周年の記念の年。同じ年に開校した横浜も、開港一五〇周年の記念事業として、各種のイベントや催しが行われているようです。首都圏に住んでいると、横浜の記念イベントのニュースに接することは大変多いのですが、函館の一五〇周年となると報道や情報に触れる機会は極端に少ないと思います。

そこで、函館(道南)応援団を標榜する我々、道南会員は、今回の開港一五〇周年の時こそ、函館を訪れて各種の記念イベントを見たり、体験したりする絶好の機会なのではないでしょうか?二度とない一五〇周年のその時に遭遇できたことは大変幸せなことなのではないかと思えます。

道南会も、来年には創立五〇周年を迎えます。道南会の創立五〇周年記念事業について皆様からのアイデアやご希望などをお寄せくださいますようお願いいたします。

会報「道南」

二十一年・夏号・通巻50号

発行 平成二十一年八月一日

発行所 北海道道南会事務局

横浜市鶴見区生麦

四九 十三 八〇三

印刷所 富士製版印刷(株)

世田谷区下馬四十七七七